

(様式3)

令和3年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

| | | | |
|--------|--|------|--------------------|
| 施設名 | おひさま児童園 | 所在地 | 伊勢市御園町長屋2767 |
| 指定管理者名 | NPO法人南勢子ども発達の支援センターえがお | 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 |
| 設置目的 | 児童福祉法に規定する児童発達支援及び放課後等デイサービスの運営 | | |
| 業務内容 | ・児童発達支援に関すること ・放課後等デイサービスに関すること ・管理業務等報告に関すること | | |
| 施設概要 | 施設面積:551.39㎡、施設内容:鉄筋コンクリート造 事務室、訓練室、療育室、倉庫、トイレ等 | | |
| 職員体制 | 管理者1人、児童発達支援管理責任者2人、療育・訓練担当職員12人、事務職員1人 | | |
| 施設所管課名 | こども発達支援室 | | |

2 収支状況

| | | (A) | (B) | (C) | (単位:円) | |
|----------|--------------|-------|------------|------------|------------|-----------|
| | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 比較(C-B) | |
| 事業 収支 | 収入 | 指定管理料 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 利用料金 | 50,884,602 | 50,607,730 | 59,365,530 | 8,757,800 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計(a) | 50,884,602 | 50,607,730 | 59,365,530 | 8,757,800 |
| | 支出 | 人件費 | 40,668,922 | 41,153,384 | 40,846,409 | △ 306,975 |
| | | 管理運営費 | 4,276,496 | 3,613,989 | 3,189,604 | △ 424,385 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計(b) | 44,945,418 | 44,767,373 | 44,036,013 | △ 731,360 |
| | 収支差引額(a)-(b) | | 5,939,184 | 5,840,357 | 15,329,517 | 9,489,160 |

| | |
|----------------------------------|--|
| 最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載 | ・コロナ禍による影響を受けながらも、利用希望者は増加傾向にあるため、利用料金の収入増となった。 ・人件費については、職員の異動と、2名が産休・育休中のため減少となった。 ・管理運営費については、旅費交通費が減になったことと、原価償却費がなくなったため減少となった。 |
|----------------------------------|--|

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

| 指定管理者 | 市 |
|---|---|
| 事業計画書に従った管理を行った。 感染予防対策も行い、法人作成のガイドライン・マニュアルを基に、療育ごとの消毒や換気、対応についての配慮事項など励行しながら日々の療育に取り組んでいる。 療育内容についても合同の研修によりスキルアップも図られた。また、作業療法士の常勤職員入職により利用者の希望に添うこともできた。 引き続き、日々の訓練・療育の中で、保護者の相談に応じて、ニーズを把握し、感染予防対策を講じながら、関係機関と密に連携を取り、支援を行っていきたい。 | 施設の運営については適正に行われていた。 利用者数については、目標を上回る利用者となり、感染予防対策を行いながら、目標を達成できたことは評価できる。 コロナ禍の状況が長引く中で、施設内での感染対策も適切に行われている。 児童発達支援・放課後等デイサービスに対する市民ニーズは高く、事業所の確保は必要不可欠であるため、引き続き、感染予防対策に努めつつ、訓練・療育を実施されたい。 |

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

おひさま児童園

| 評価項目 | | 評価 | | | | |
|-----------|----------------|--|------|--|------|--|
| | | 指定管理者 | | 市 | | |
| 業務運営項目 | 評価の基準 | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 | |
| 施設設置目的の達成 | ①施設の目的や基本方針の理解 | 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。 | A | 施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。 | A | 施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。 |
| | ②施設設置目的の達成度 | 施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。 | A | 管理運営を通して、発達支援の必要な児童に対し、療育支援を行うことができた。 | A | 施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。 |
| | ③利用者数 | 利用者数は当初の目標を達成したか。 | A | 利用者は、目標(児童発達支援:1日あたり8人以上、放課後等デイサービス:1日あたり9人以上)を達成し、安定してきている。 | A | 年間利用者については、目標数を上回る利用者があった。 |
| | ④運営状況 | 施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。 | A | 事業計画書通りの供用日数・時間を達成した。 | A | 事業計画書に計画された運営が行われた。 |
| | ⑤職員の配置状況・勤務実績 | 職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。 | A | 理学療法士に関しては、常勤設置はできなかったが、作業療法士2名のうち1名の常勤配置・言語聴覚士2名の常勤配置は行うことができた。 | A | 事業計画書どおりの職員配置が行われた。 |
| | ⑥意思疎通 | 管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。 | A | 事業計画書にうたわれた毎月の業務報告、毎月の業務打ち合わせを通じて意思疎通を行った。 | A | 事業計画書どおりの毎月の報告、毎月の打ち合わせを行うことができた。 |
| | ⑦各種管理記録等の整備・保管 | 各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。 | A | 点検記録・修繕記録等、各種整備・保管が適正に行われている。 | A | 各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。 |
| | ⑧地域の振興 | 地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。 | B | コロナ禍の為、地域住民との交流の取り組みはできなかった。関係機関との連携を密に行ったものの地域の振興まで至らなかった。 | B | コロナ禍が長期化し、取り組みに制限はあるが、地域や地域住民との交流・連携について可能な範囲で取り組まれたい。 |
| | ⑨使用許可等 | 使用許可等申請が適正に行なわれていたか。 | | — | | — |
| | ⑩利用料金等の徴収状況 | 徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。 | A | 各種の帳簿はもれなく作成を行った。 | A | 帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。 |
| | ⑪個人情報 | 個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。 | A | 個人情報の取り扱いについては、基本的に随時、確認と配慮を行っている。また、新規職員についても周知を行った。 | A | 個人情報漏洩などの問題は発生していない。 |
| | ⑫法令遵守 | 関係法令を遵守していたか。 | A | 児童福祉法に規定する児童発達支援・放課後等デイサービスの運営基準を順守し、運営を行った。 | A | 法令違反は見受けられなかった。 |

指定管理業務の項目別評価表

| 評価項目 | | 施設名 | | | | |
|-------------|-----------------------|---|--|--|--|---|
| | | 指定管理者 | | 市 | | |
| | | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 | |
| 業務運営項目 | 評価の基準 | 判定 | 評価理由 | 判定 | 評価理由 | |
| サービスの質の向上 | ①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み | A | ホームページやパンフレット等にて、施設についての周知を行った。初回相談や担当者会議等でも丁寧な説明と紹介を行った。相談支援事業所への周知を行った。 | A | 目標数を上回る利用者があった。 | |
| | ②利用者の平等な利用 | A | 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。 | A | サービス水準については、期待される水準にあった。 | |
| | ③適切な情報提供 | A | 全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。 | A | 関係機関を中心として、周知はされている。 | |
| | ④非常時・緊急時の対応 | A | 施設全体(ハートプラザみその)の避難訓練に参加し、緊急時の対応について確認を行った。御園小学校の屋上までの経路と状態の確認も行っている。避難訓練・避難図の掲示も行い、災害対応についての避難場所の案内文も利用者に配布済みである。また、不審者等の事業所独自の訓練も行い、掲示板に貼ったり通信に載せたりして利用者にも周知している。 | A | 引き続き、施設全体の管理者とも連携し、緊急時の対応について、確認されたい。 | |
| | ⑤苦情解決体制及び対応 | A | 利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。 | A | 利用者からの苦情等は特になかった。 | |
| | ⑥自主事業 | 利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。 | — | — | — | |
| | ⑦事業の評価 | 事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。 | A | 業務報告書を作成、それを元に反省・提案・見直しを行い、次年度につなげている。また、今回の評価も利用し伊勢市とも協議を行い、次年度へつなげていく。 | A | 指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、今回の評価を利用して、伊勢市とも協議が行われ、改善を行っている。 |
| 施設・設備等の維持管理 | ①建物・設備の保守点検 | A | 定期的に施設の安全点検、機能確認、美観確認を行い、記録にまとめている。また、随時ハートプラザみその、こども発達支援室、法人本部に報告と情報共有を行っている。 | A | 施設全体の管理者とも情報共有し、定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。 | |
| | ②備品等の管理 | A | 備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。 | A | 破損や紛失がなく、適正に管理されていた。 | |
| | ③修繕業務 | A | 点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。 | A | 異常があった場合は、機器にあった対応を行い、記録をとった。また、随時ハートプラザみその、こども発達支援室、法人本部に報告と情報共有し、指示に応じた処理を行っている。 | |
| | ④清掃業務 | A | 事前に予定を立てて担当者の予定指示に従って年2回の定期清掃を行った。また、環境に応じた清掃により清潔と景観を保てるようにした。さらに、コロナ感染予防対策の為、毎日2回の全館消毒と毎療育後の全遊具・用具消毒を行った。 | A | 予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。 | |
| | ⑤防犯体制 | A | 鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。 | A | 個人情報の書類等が事務所をはじめとして、防犯対策委託期間中に防犯に関する問題はなかった。 | A |